

2020年3月期 第3四半期 決算説明会

2020年2月4日

日本ユニシス株式会社

システムサービスを中心に増収および収益性改善が継続。
 売上総利益が大きく伸長したことで営業利益は計画を上回る水準で推移。

(単位：億円)

	3Q累計 (4-12月)		前年同期比 増減	
	2020/3期	2019/3期		
売上高	2,189	1,989	+200	+10.1%
売上総利益	559	503	+55	+11.0%
販管費	△393	△382	△11	△3.0%
営業利益	165	121	+44	+36.4%
(営業利益率)	(7.5%)	(6.1%)		(+1.5pt)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	119	90	+29	+31.7%
受注高	2,030	2,041	△10	△0.5%
受注残高	2,107	2,259	△152	△6.7%
(内、年度内売上予定分)	585	576	+9	+1.5%

<3Q累計決算のポイント>

■売上高

DX関連案件を中心にシステムサービスが底堅く推移したことに加え、アウトソーシングにおける中小型案件の積み上げや、製品需要の取り込み等により増収。

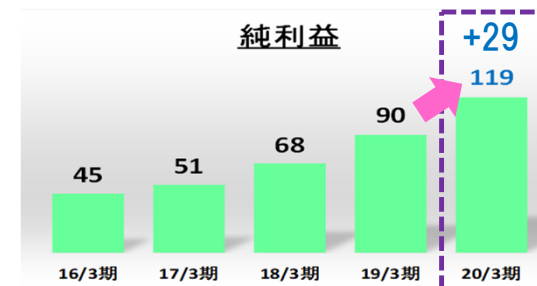
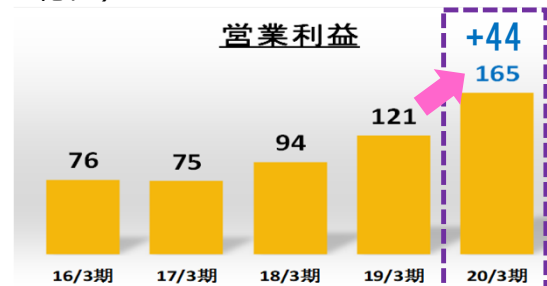
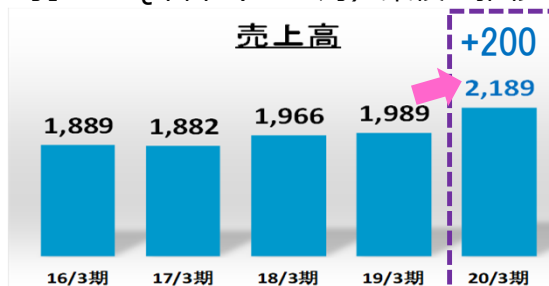
■営業利益

増収効果およびシステムサービスの収益性改善が継続し売上総利益が大きく伸長。販管費は研究開発費の増加等はあるも計画線で推移。

■受注高・受注残高

受注高、受注残高ともに大型アウトソーシング案件の更改タイミングの影響で減少。受注残高のうちの年度内売上計上分は前年同期比で増加。

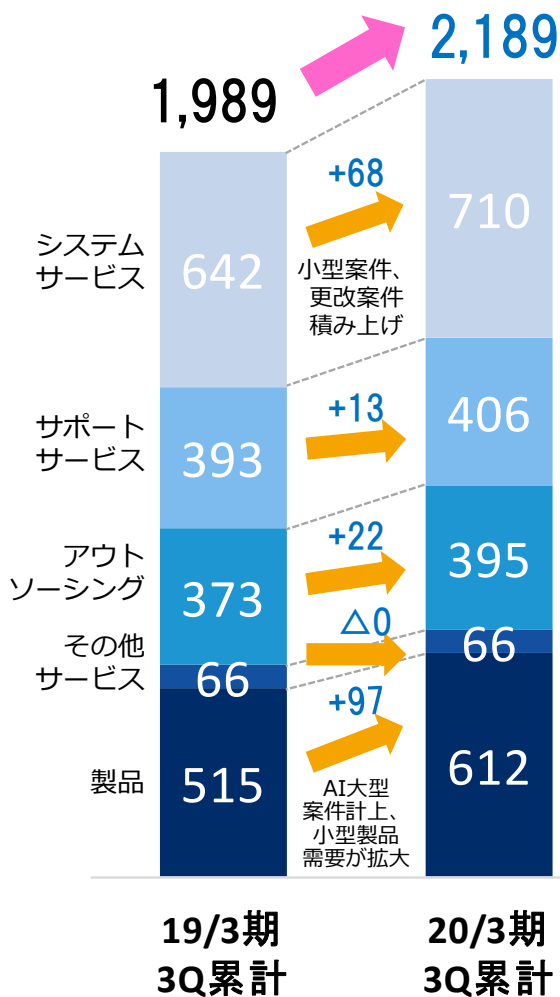
【ご参考】 3Q累計 (4-12月) 業績の推移 (単位：億円)



(単位：億円)

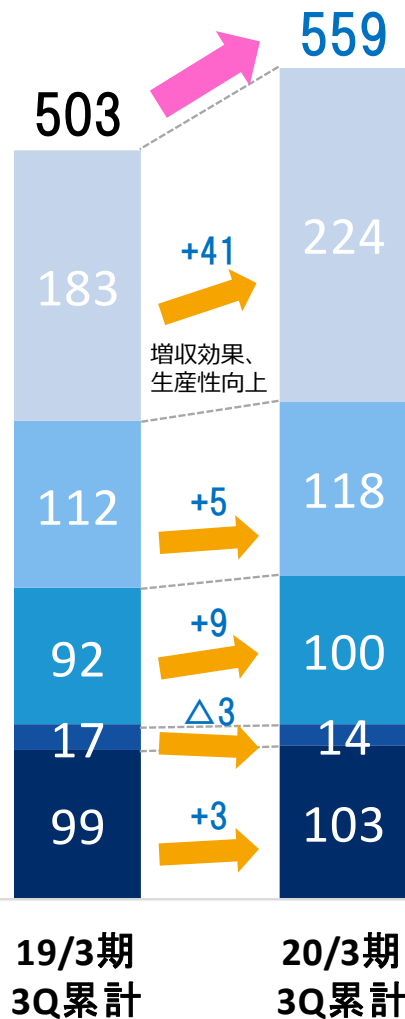
売上高

+200
(+10.1%)



売上総利益

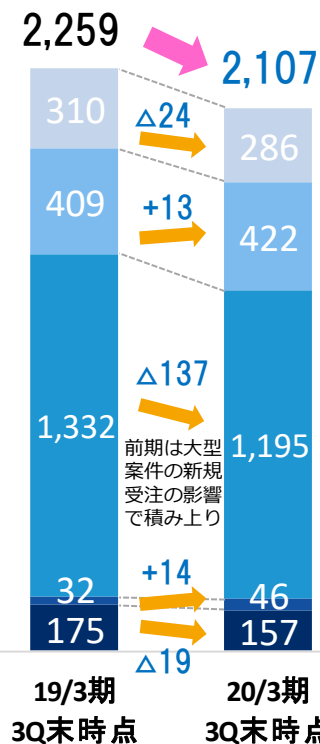
+55
(+11.0%)



【ご参考】

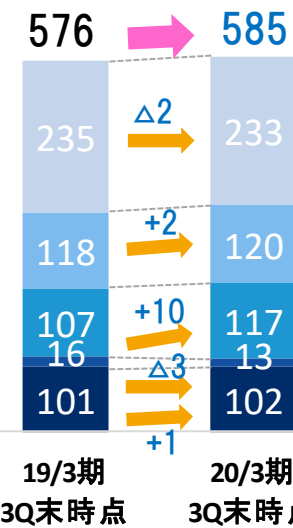
受注残高 (合計)

△152
(△6.7%)



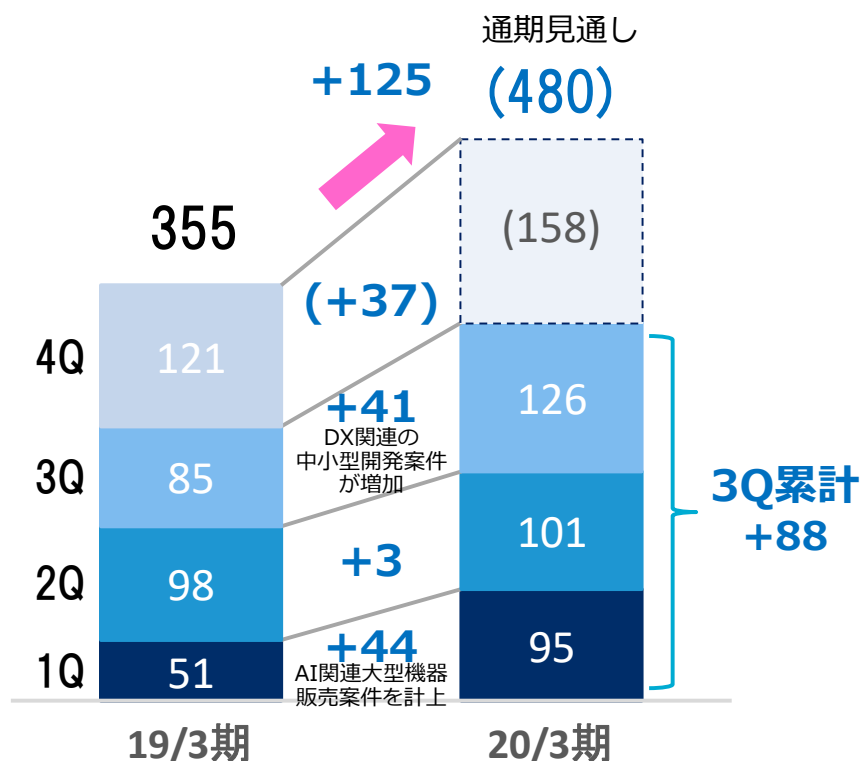
受注残高 (年度内売上予定分)

+9
(+1.5%)



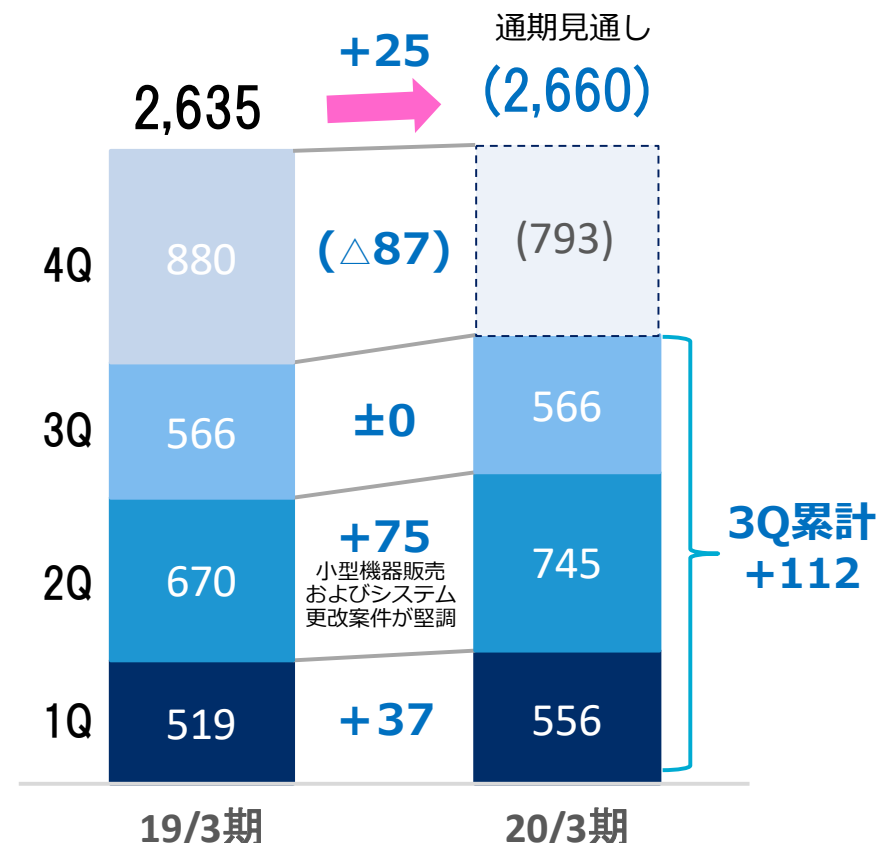
(単位：億円)

注力領域 売上高



- ・顧客接点系を中心としたDX関連の開発案件が堅調
- ・QR・バーコード決済における取扱高の増加
- ・エネルギーマネジメント、MaaS領域等における取り組みが拡大中

ICTコア領域 売上高



- ・システム更改案件を中心に底堅く推移
- ・システム開発・運用における生産性向上への取り組みを継続

通期業績予想を上方修正
 収益性の改善は1年前倒しで中期経営計画で目指す水準に到達する見込み

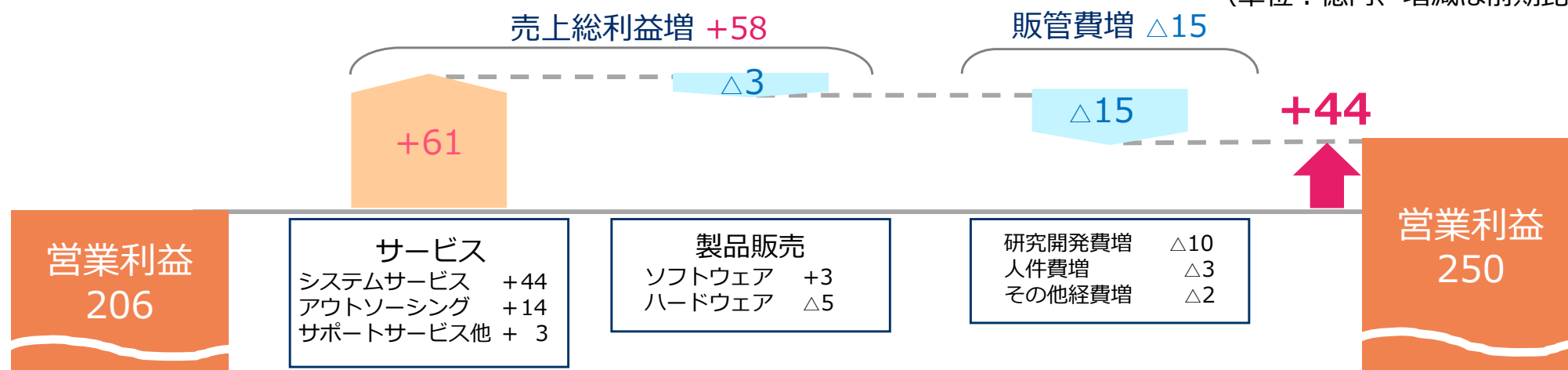
(単位：億円)

	20/3月期 3Q累計実績		20/3月期 4Q予想		20/3月期 通期修正予想		前回予想 (11/6)	前回予想 との差異
	金額	増減	金額	増減	金額	増減	金額	差異
売上高	2,189	+200	951	△50	3,140	+150	3,070	+70
営業利益	165	+44	85	△0	250	+44	230	+20
(営業利益率)	(7.5%)	(+1.5pt)	(8.9%)	(+0.4pt)	(8.0%)	(+1.1pt)	(7.5%)	(+0.5pt)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	119	+29	56	+4	175	+33	160	+15

* 通期予想の内訳は補足資料をご覧ください。

【2020年3月期 通期予想 営業利益の増減分解】

(単位：億円、増減は前期比)



19/3期通期

20/3期通期

Foresight in sight

UNISYS

(注意)

本資料における将来予想に関する記述は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。実際の結果は、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予想と異なる可能性があり、当社グループとして、その確実性を保証するものではありません。

また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。

本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。